

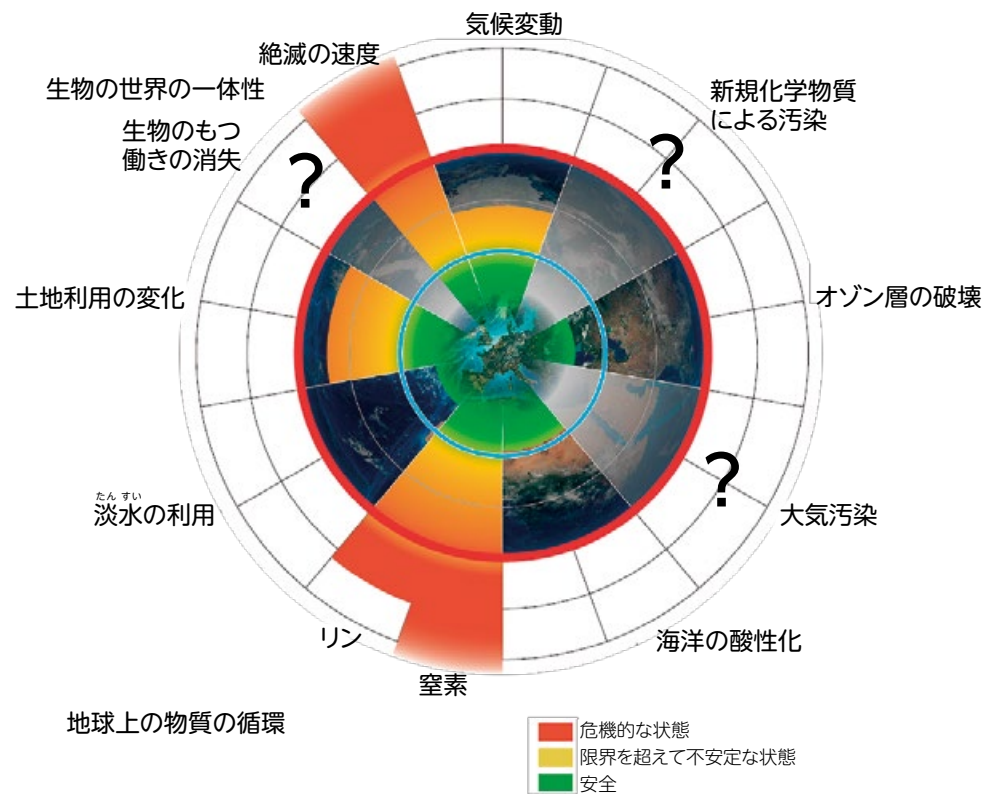
わたしたちの未来は大丈夫？

世界人口は70億人を突破し、2050年には98億人に達すると予測されています。人口が増えれば増えるほど、人間の活動による地球環境への負担が大きくなっていきます。わたしたちが大人になるころ、地球はどうなってしまうのでしょうか。そして、地球上に住んでいる人たちは、どうなってしまうのでしょうか。

地球の限界

2015年、人間の活動が地球環境におよぼす影響を評価した研究が発表されました。この研究では、地球環境の維持に不可欠な9つの分野を分析し、どれだけ危機的な状況かを示しています。

例えば、世界の人口が増加する中、農作物の収穫量を上げるために肥料を大量に使うようになった結果、肥料の成分(窒素やリンなど)の一部は農作物に取りこまれますが、多くは土に残ったり、川や海に流れ出したりします。これによって川や海の水質が悪化し、漁業などに悪い影響をあたえる場合があります。その結果、窒素やリンについては、地球がたえられる負荷の許容量をこえている、と考えられています。このように、人間社会を便利に、豊かにしようとして使ったものが原因で環境が悪化し、結果的に人間社会に悪い影響をもたらすということが実際に起きています。また、その悪い影響は取り返しのつかないことになるかもしれないのです。



資料：Will Steffen et al. (2015) 「Guiding human development on a changing planet」

実際に起こっている地球の変化

人間活動の影響で、地球環境にはどのような変化が起きているのでしょうか。

地球温暖化

地球全体の平均気温が上がることを「地球温暖化」といいます。地球温暖化が進むと、今までにないレベルの猛暑や大雨などの異常気象が増加するなど、世界中の自然や暮らしに様々な影響が出ます。

2017年は、アジアで50℃を超える気温、カリブ海や大西洋で相次いで発生した記録破りのハリケーン、アフリカをはじめ世界中で数百万人に被害をおよぼした壊滅的な雨季の洪水、さらには東アフリカの絶え間ない干ばつなど、世界各地で多くの異常気象が起きました。

- ハリケーン「イルマ」があたえた壊滅的被害



資料：UN Photo/Rick Bajormas

生物の絶滅

生命が地球上に誕生して以来、生物が大量に絶滅する「大絶滅」が5回あったと言われています。現在は「第6の大量絶滅時代」と呼ばれており、過去の大絶滅と比べて絶滅の速度が速く、その主な原因は人間の活動による影響であると言われています。

- ライオン
人間活動による生息地の減少などが原因で、その数を減らしている。



資料：環境省

- 森林伐採の様子



資料：熱帯林行動ネットワーク

森林の減少

世界の陸地の面積の約3割を占める森林が徐々に消えています。伐採などにより、1990年からの25年間で、日本の面積の3.4倍にあたる約1億2,900万ヘクタールの森林が世界で減少しています。